

先進的な英語教育活動への取り組み

1月22日(土)に、**英語体験学習「アナタと私といしのまき」**が開催され、4名の生徒が参加しました。英語による実践的・体験的な学びの機会を設けることで言語能力の向上を図り、国際的な視野を広げることや思考を深めることを目的としています。石巻市内にて英語カフェを運営している Keegan Lynch さんがボランティアでゲストとして協力してくださいました。オンラインを活用し、ゲストの方に「これまでに就いた職業について」や「これまで訪れたことがある国について」など、約1時間インタビューを行いました。参加した生徒は少し緊張した様子でしたが、普段の授業で培った英語の力を用いて外国の方と即興で話すという大変貴重な体験をし、有意義な時間を過ごすことができました。



自己の将来と働くことについて考える機会となりました。

1月25日(火)に1・2年生を対象として「**鰐陵塾**」が行われました。各界の第一線で活躍している本校の卒業生の講演を聴くことにより、視野の拡充・知識欲の喚起・建設的自己実現の契機とさせることを目的としています。新型コロナウイルス感染症対策として、講義室にて講演をしていただき、その様子を各教室にオンラインで放映する形式となりました。

今年度は、本校卒業生で株式会社石巻日日新聞の報道部記者本庄雅之氏からお話をいただきました。「新聞を作成する上で大変なこと」「新聞業界の実情」「新聞記者になるために必要な能力」など、実体験を踏まえた大変貴重な話をしていただき、生徒も真剣に聞いていました。

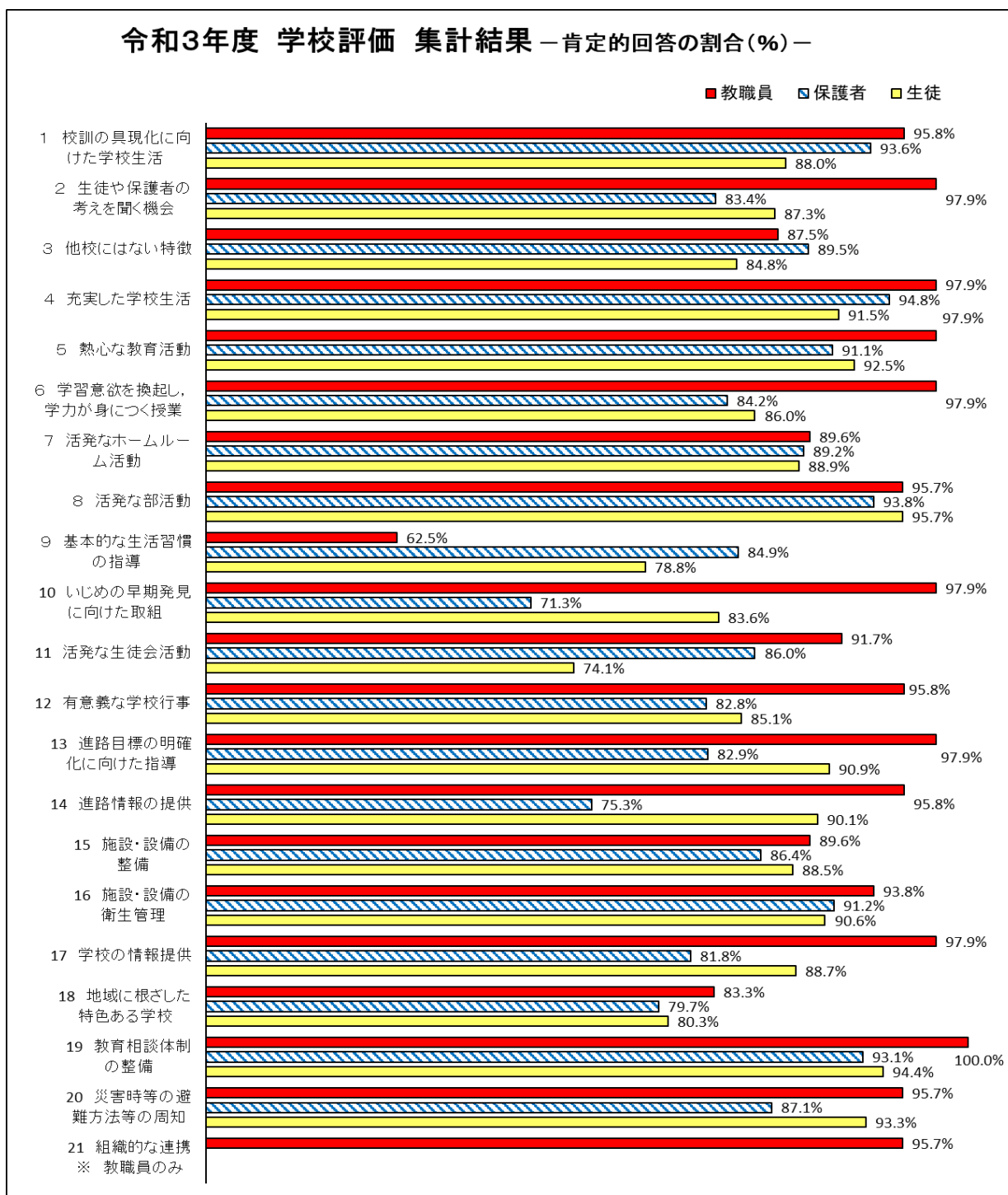


< 生徒の感想 >

- 新聞は、情報がたくさん載っているだけだと思っていましたが、講演を聴いて、人間がつくった人間味のあるものなのだなと思いました。また、1つの情報でも受け止め方と発信の仕方が異なり、面白いと感じました。
- 今まで新聞を読んだ方が良い理由は、「社会を知るため」だと思っていましたが、自分の見えている社会を広げるためだと聴いて、新聞を読みたいと思いました。

教育活動の充実と、学校経営改善のために

過日実施した『学校評価アンケート』について、集計結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。なお、詳細については後日、本校ホームページに公開しますので、御意見・御感想等お寄せいただければ幸いです。御多用の中、御協力いただき誠にありがとうございました。 学校長 高梨正博



<今年度の学校評価アンケート集計結果から明らかになったこと>

コロナウイルス感染症対策のため、さまざまな活動が制限される中、本校では工夫して学校行事を行っております。「12 有意義な学校行事」は、外部アンケート（保護者・生徒）において昨年度よりも肯定的割合が増加し、コロナ禍以前の水準に戻りつつあります。次年度以降も、例年の形態での実施が難しい場合の代替案も考慮しながら学校行事を計画していく方針です。また、「14 進路情報の提供」「17 学校の情報提供」について、外部アンケート（生徒）の肯定的回答は約90%に対して、外部アンケート（保護者）は75%~80%であり昨年度よりも微減しました。このため、一斉メールを用いた情報提供を始めるなど対策を講じております。今後も、学校評価の結果を参考に、学校の取組について見直しを加えながら更に伸ばしていくことができるよう努めて参ります。